



平成 21 年 7 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社サーラコーポレーション
 代表者名 取締役社長 神 野 吾 郎
 (コード番号 2 7 3 4 東証・名証第一部)
 問合せ先 経営企画室長 鈴 木 幸 一
 (TEL. 0 5 3 2 - 5 1 - 1 1 5 5)

第 2 四半期連結業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 1 月 15 日に公表した平成 21 年 11 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 20 年 12 月 1 日～平成 21 年 5 月 31 日）の連結業績予想と、本日公表の同期実績に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、平成 21 年 11 月期通期（平成 20 年 12 月 1 日～平成 21 年 11 月 30 日）の連結業績予想についても修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 11 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値との差異 (平成 20 年 12 月 1 日～平成 21 年 5 月 31 日)

| | 売 上 高 (百万円) | 営業利益 (百万円) | 経常利益 (百万円) | 当期純利益 (百万円) | 1 株当たり 当期純利益 (円) |
|---|----------------|---------------|---------------|----------------|------------------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 73,873 | 1,976 | 1,839 | 1,040 | 26.88 |
| 実 績 値 (B) | 61,752 | 1,242 | 1,100 | 373 | 9.71 |
| 増 減 額 (B - A) | △12,120 | △733 | △738 | △666 | — |
| 増 減 率 (%) | △16.4 | △37.1 | △40.2 | △64.1 | — |
| (ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 11 月期第 2 四半期) | 76,252 | 1,569 | 1,588 | 452 | 11.51 |

2. 平成 21 年 11 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 12 月 1 日～平成 21 年 11 月 30 日)

| | 売 上 高 (百万円) | 営業利益 (百万円) | 経常利益 (百万円) | 当期純利益 (百万円) | 1 株当たり 当期純利益 (円) |
|-------------------------------|----------------|---------------|---------------|----------------|------------------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 142,131 | 1,784 | 1,634 | 743 | 19.19 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | 119,960 | 786 | 694 | 36 | 0.96 |
| 増 減 額 (B - A) | △22,171 | △997 | △939 | △706 | — |
| 増 減 率 (%) | △15.6 | △55.9 | △57.5 | △95.0 | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成 20 年 11 月期) | 144,903 | 386 | 270 | △599 | △15.28 |

3. 第2四半期連結業績予想数値との差異及び通期連結業績予想修正の理由

(1) 第2四半期連結業績予想数値との差異が生じた理由

売上高につきましては、景気の後退を背景にエネルギーサプライ&ソリューション事業においてLPガス、石油製品の販売数量が工業用を中心に減少し、また、原油価格の下落による販売価格の低下などもありましたので、予想数値を下回り 61,752 百万円となりました。

営業利益につきましては、各セグメントにおいて営業費用の削減に努めたことにより、販売費及び一般管理費を 145 百万円削減しましたが、予想数値を下回り 1,242 百万円となりました。このため経常利益は 1,100 百万円、当期純利益につきましても 373 百万円と予想数値を下回る結果となりました。

(2) 通期連結業績予想修正の理由

当第2四半期連結累計期間において予想数値との差異が生じたことに加え、自動車産業を中心とした取引先企業における工場の稼働率の低迷、設備投資の抑制など、今後も当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しいことが予想されます。

このような状況のなか、エネルギーサプライ&ソリューション事業では、原価管理の徹底及び生活サポート提案の強化を行い、収益の確保に向けた取り組みを継続するとともに、当事業の重要な基盤である家庭用のお客さま獲得のため、積極的なM&A展開等に取り組んでいきます。以上により、通期業績予想は売上高 52,140 百万円、営業利益 2,390 百万円を見込んでおります。

エンジニアリング&メンテナンス事業につきましては、受注の確保、原価管理の徹底に努めますが、取引先企業における設備投資の抑制が継続しているため、通期業績予想は売上高 25,210 百万円、営業利益 40 百万円を見込んでおります。

カーライフサポート事業につきましては、輸入車販売部門では全国的な輸入車販売台数が前年同期比で 30%減少しているなか、当社グループの販売台数も前年同期比 25%減少となっております。今後につきましては、整備、サービスの充実を図ることにより収益基盤を構築し、通期業績予想は売上高 10,530 百万円、営業利益 10 百万円を見込んでおります。

アニマルヘルスケア事業につきましては、ペット関連分野における療法食の販売、並びに畜産分野における動物用医薬品等の販売が堅調に推移するなか、引き続きシステム関連の先行投資があるものの、通期業績予想は売上高 19,600 百万円、営業利益 240 百万円を見込んでおります。

ロジスティクス事業につきましては、サーラおそうじ倶楽部、サーラ引越便、機密書類の出張細断サービスなど地域密着型の生活関連サービスに注力しておりますが、景気低迷による一般貨物の輸送量が前年同期比で 18%減少したことなどにより、通期業績予想は売上高 2,640 百万円、営業損失 80 百万円となります。

ホスピタリティ事業につきましては、平成 20 年 8 月に開業したココラフロント（豊橋駅前再開発事業）におけるオフィスビル賃貸事業は 100%稼働となっておりますが、ホテルの宿泊では出張者が減少し、客室単価が低下していることと、外食部門でも既存店の来店お客さま数が減少していることにより、売上高の通期業績予想は 2,840 百万円となります。また、営業費用につきまして引き続き見直しを行っておりますが、ココラフロントの開業に伴う減価償却費が 658 百万円見込まれるため、営業損失 720 百万円となります。

その他の事業につきましては、自動車部品製造事業が昨今の自動車業界の不振から売上が減少していることと、ソフトウェア開発事業も受注先における設備投資の削減の影響により売上が減少していることなどにより、通期業績予想は売上高 7,000 百万円、営業損失 330 百万円となります。

以上、各事業の状況により、通期の連結業績予想は、売上高 119,960 百万円（前回予想 142,131 百万円）、営業利益 786 百万円（前回予想 1,784 百万円）、経常利益 694 百万円（前回予想 1,634 百万円）当期純利益 36 百万円（前回予想は 743 百万円）に修正することといたしました。

4. 配当について

中間配当につきましては、当初予想のとおり 1 株当たり 5 円を実施することといたしました。期末配当につきましても、大変厳しい業績を予想しておりますが、業績回復に向けた施策に強力に取り組むことにより、配当方針*を維持いたします。したがって、中間配当金とあわせて年 10 円を実施する予定であります。

- * 配当方針
- ①連結配当性向 30%を目途として配当を行います。
 - ②最低年間配当金として 1 株につき年 10 円（中間・期末各 5 円）を維持します。

以 上